

がん性疼痛看護専門看護研修

専門分野	がん性疼痛看護		
担当	がん性疼痛看護認定看護師		
目的	がん患者の全人的苦痛を理解し、がん性疼痛のある患者に安全・安楽な看護を提供できる		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. がん患者の全人的苦痛について講義資料を用いて説明ができる。(認知領域：理解) 2. 身体的苦痛の中のがん性疼痛について講義資料を用いて説明することができる(認知領域：理解) 3. がん性疼痛の治療薬オピオイド・NSAIDs・鎮痛補助薬の種類、特徴について講義資料を用いて説明することができる(認知領域：理解) 4. がん患者の全人的苦痛のアセスメントの基本について講義資料を用いて説明できる(認知領域：理解) 5. 本研修で学んだことをどのように職場に活かせるか気づきを示すことができる(情意領域：受容) 		
対象者	看護師経験 3年以上 がん患者の看護経験 3年以上の学ぶ意欲のある看護師		
人数	5～10名程度		
研修期間	平成31年7月～平成31年11月（毎月1回 第3木曜日開催）		
研修時間	第1回 7月18日（木） 18：00～19：00 第2回 8月15日（木） 18：00～19：30（※1時間30分） 第3回 9月19日（木） 18：00～19：00 第4回 10月17日（木） 18：00～19：00 第5回 11月21日（木） 18：00～19：00		
内容	回	内容	使用物品
	第1回 講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全人的苦痛の理解 2. 痛みの定義 3. 痛みの分類と特徴 4. 痛みのメカニズム 	パワーポイント 講義資料 筆記用具
	第2回 講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療用麻薬とオピオイド 2. 各種オピオイドの生理的作用 3. オピオイドの副作用対策 4. オピオイドスイッチング 5. 新しいオピオイド（トピックス） 	パワーポイント 講義資料 筆記用具
	第3回 講義形式	<ol style="list-style-type: none"> 1. NSAIDsの作用機序 2. アセトアミノフェンの作用機序 3. 鎮痛補助薬の作用機序 	パワーポイント 講義資料 筆記用具

	<p>第4回 講義内容</p> <p>第5回 修了試験</p>	<p>1. 全人的苦痛についてのアセスメント 2. 痛みのアセスメント方法 3. 事例をもとにしたアセスメント 課題:本専門研修をどのように職場に生かしていくかを具体的に示す。 800字程度でレポートにまとめる</p> <p>1. 筆記試験(45分) ※筆記試験の結果は後日個別に返却 70点以下の場合、課題提出あり 2. まとめと振り返り 3. 課題レポート回収</p>	<p>パワーポイント 講義資料 筆記用具</p> <p>パワーポイント 筆記用具</p>
合格基準	<p>1. 全講義を受講する(「医療用麻薬静脈注射及び皮下注射の交換・臨時追加与薬研修」28・29・30年度修了者もしくは必ず受講する場合に限り平成31年度受講予定者は、第2回に限り、受講しなくても可)</p> <p>2. 修了試験 70点以上 <u>※修了試験は全過程を受講したもののみ受けることができる</u>(70点未満の場合、不正解の項目について振り返り、レポートにまとめ提出できる)</p>		
その他	<p>本研修修了者には修了証を発行する</p>		